

## 2-3. あかりの演出ノウハウ集

素敵な夜間景観は、公共照明だけではなく店舗や宿泊施設、住宅などまちを構成するすべての要素が創り出す風景です。以下に簡単なあかりづくりのコツをまとめてみました。照明器具の光源を選ぶ基本は「LED」「電球色」です。

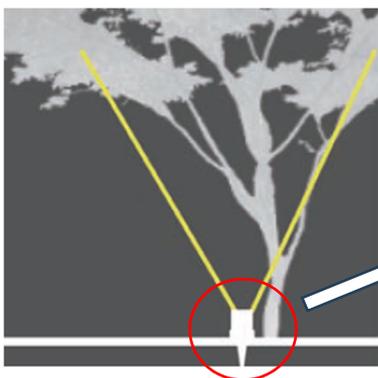
### 【樹木や花壇の演出】

樹木のライトアップは、幹にできるだけ近い位置で真下から真上に向かって照らします。

歩行時にまぶしくないように設置し、付近の建物の窓に光が差し込まないように注意しましょう。



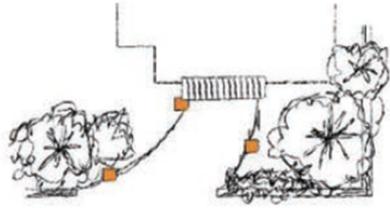
樹形によっては照らし方にコツがあります。大きく枝が広がった樹形の場合は、複数のスポットライトで照らすのが良いでしょう。斜めに照射する場合は、窓などに光が差し込まないように注意しましょう。



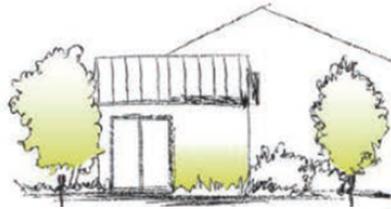
樹木のライトアップは、スパイク式のスポットライトを使えば、自由に地面にさして使えるので、簡単に調整ができます。

住宅や店舗のファサード（建物の表側・正面部分）であれば、LED10～15W、明るさは500～1000ルーメン程度が目安です。光源の配光角度は、樹木であれば「広角（40°程度）」が目安です。

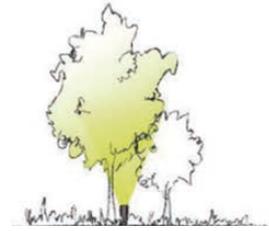
## 【旅館やホテル、飲食店に有効な建物正面の演出】



エントランスアプローチを印象的にするには行灯や低ポール灯が有効です。



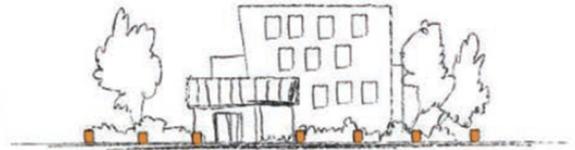
玄関前に樹木がある場合は、ライトアップをやってみましょう。



スポットライトは、樹木の真下から真上に向かって照射します。光が窓に差し込まないように注意しましょう。



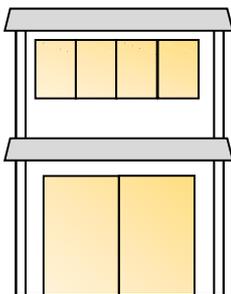
行灯は置き方によって印象が変わります。園路に沿って同じ側に置くとモダンな印象に、交互にずらして置くと和風らしさが際立ちます。スポットライトで道を照らす方法もあります。



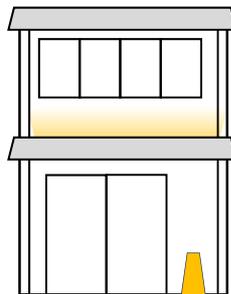
入口に長い壁や生け垣がある場合などは、行灯や低ポール灯を連灯すると安全安心感が高まります。

## 【町家入口の演出】

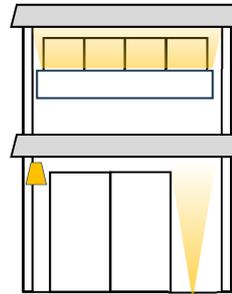
間口のデザインや軒や庇の形状によって、様々な演出が可能です。



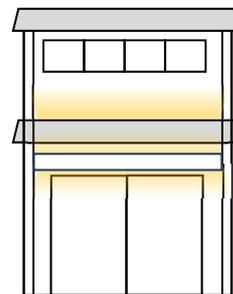
窓の漏れ光は最も大切なまちなあかりです。できれば電球色を使いましょう。



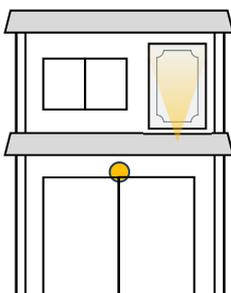
しっくい壁などを引き立てる間接照明。行灯はまちなみをつくります。



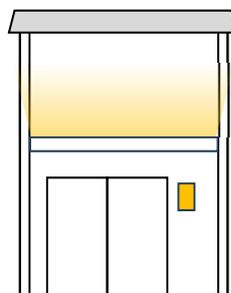
手すりを利用した軒裏への間接照明。吊り灯籠や袖壁のライトアップも有効です。



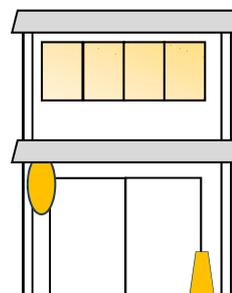
壁が広い場合は特にライトアップが映えます。化粧棧を利用した間接照明も効果的です。



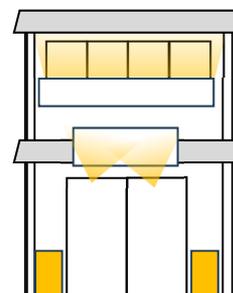
入口の上部に直付け灯をつけると玄関が強調できます。鍔仕上げの壁銘板のライトアップもお勧めです。



胴縁を利用した間接照明は壁の印象を引き立てます。入口袖には直付け灯などで店の個性をだします。



提灯や行灯を駆使した店舗演出に加え、二階の窓あかりの漏れ光も大切です。



木製の屋号看板は投光タイプの演出がおすすめです。大きな角型行灯を両袖において個性をだすこともおすすめです。

## 【まちなみをつくる民間建物の演出】



連続する白壁や軒裏のライトアップは通りの品格を高めます。グランドレベルに壁を照らし上げるライン状の照明器具を配置し演出します。



蔵や石垣の素材感が風情ある風景を創ります。広角の大型投光器を、機材が見えないように地面に配置してアッパーライトとして投光します。



門構えはまちなみに大きな印象をつくります。壁を照らす工夫が重要です。門から見える奥の方が明るいとうりたくなる効果があります。



連続する行灯はまちなみに貢献します。地域でおそろいの行灯をつくるのも良いでしょう。



オープンカフェのあかりはまちの印象に貢献します。テーブルの上には、キャンドルや充電式のテーブルランプを使います。



エントランスの壁や植栽の印象は大切です。行灯のあかりには誘導効果もあります。

## 【電気工事なしでの屋外のあかりの演出】

あかりの設置は屋外にコンセントがあれば簡単です。防水プラグのタイプであれば、延長コードで分岐も可能です。光源は、現在ではほとんどがLEDなので安心です。電球色を使いましょう。



**屋外用コンセント**  
このコンセントであれば防水プラグでなくても差し込めます。

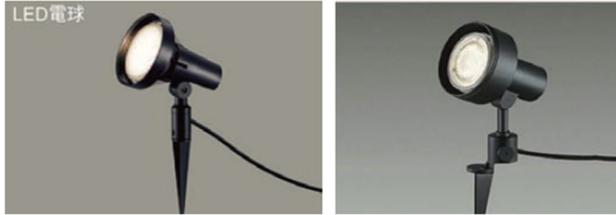


**防水プラグ**  
この形のプラグであれば、延長コードを遠くまで伸ばすことができます。



**屋外用延長コード**  
この形の延長コードであれば、庭にそのままころがしておくことができます。  
\*差し込むプラグも必ず「防水型」でなければいけません。

### 100V（ボルト）照明器具の例



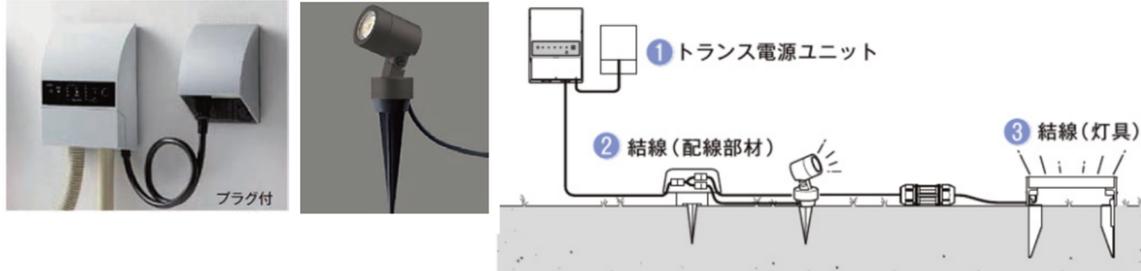
※防水プラグ仕様ではない照明器具は、屋外用であっても必ず防水コンセントに差し込んで使用します。プラグ部分が雨に濡れないようにしましょう。

屋外にコンセントが1つしかない場合は、一般的な100V（ボルト）仕様の照明器具では設置数が限られます。分岐コードを使って複数のあかりをつなげるか、専用の電源装置を用いたローボルトタイプの器具を使用するかのどちらかになります。

ローボルト（12Vもしくは24V）の器具シリーズは住宅用として販売されています。

ローボルトの器具を使用する場合は、屋外コンセントに「専用の電源装置」をつなぎ、その電源に照明器具のコードを接続して使用します。複数の器具を連続してつなぐことができるので便利です。

### 12V（ボルト）照明器具の例



### 【照明器具の購入方法】

照明器具はあまり市販されていません。丈夫で長年使える品質のものはカタログからしか購入できなかったのですが、最近ではインターネットでも様々なメーカーのものが手軽に購入できるようになりました。よく知っている電気工事店に相談するのも良いでしょう。

また、照明メーカー各社のホームページもあるので屋外用の照明器具ページで検索できます。メーカーページからは購入できないので、購入したい照明器具が決まったら、品番で検索すれば購入できるページが見つかります。

## 2-4. 色彩照明に関するガイドライン

豊かな歴史文化と「街なみ環境整備事業」による景観修景を長年にわたり実施してきた平戸城下旧町地区とその周辺は、ユネスコ世界遺産めぐりの拠点でもあり、落ち着いた情緒的な環境がふさわしいと考えます。

### 常設のあかりは「電球色」に統一しましょう



カラフルな色彩のランタンで有名なホイアン



港湾全体が柔らかな電球色のあかりで包まれるようなストックホルム

常設照明に特別なカラーを設定し、まちに活気や特別感を持たらすことは可能です。その場合は、以下のガイドラインに沿って計画することを推奨します。

- ①通常は電球色で運用しましょう
- ②年間の特別な日（自閉症啓発デーのブルーライトアップ等）に限って、特別色での演出を実施
- ③色彩選択に意味を持たない「レインボー」や動きが速すぎるカラーチェンジは行わない
- ④色彩変化や点滅は、動かす場合でも、できるだけゆっくりとした動きとしましょう

参考）福井城址石垣のカラー演出事例

通常：電球色



特別カラー例



桜色



苔色



橙色



あじさい色



白色

参考) 福井城址石垣のカラー演出設定

番号	カラー	色	備考	推奨されるシーンのイメージ
1	通常		※景観に最適な色に調整	通常のシーン用 最も日常的に使用する色彩
2	消灯			
3	苔色		※景観に最適な色に調整	通常のシーン用 電球色よりも白っぽく、笏谷石の色味を引き立てるカラー
4	不死鳥カラー		※景観に最適な色に調整	「赤」くしたい場合に使用。赤がテーマの応援時や、祭りの日など一時的に点灯するのに適している。
5	橙色		※黄味のあるだいたい色 ※景観に最適な色に調整	・9月21日 世界アルツハイマーデー ・11月1日~11月30日 オレンジリボンキャンペーンなど、全国で「オレンジ」を点灯する日に。
6	桜色		※景観に最適な色に調整	・10月1日 ピンクリボンフェスティバル ・「桜まつり」時には、「13」の選択を推奨
7	白色		※景観に最適な色に調整	白い光であるが、通常は上記「1」「3」が長く、どうしても白っぽくしたい時に使用。
8	萌葱色		※景観に最適な色に調整	・「環境保護啓発」など「緑」にしたい時に使用。(城址の景観色として原色のグリーンは準備しない)
9	若草色		※景観に最適な色に調整	・5月31日 世界禁煙デー (イエローグリーン)
10	(青色)		※わかりやすい深いブルー。 ※ロイヤルブルー ※国際的に認知された青色	・4月2日 ライト・イット・アップ・ブルー (世界自閉症啓発デー) ・11月14日 ブルーサークルキャンペーン (世界糖尿病デー) ・拉致問題啓発 ※ブルーのライトアップが推奨される日は国内外で多数あるので適時利用できない色彩。 ※濃いブルーのため、長期間連続は避ける。
11	薄青色		※景観に最適な色に調整	・7月21日・22日 海の日 ・性同一性障害への理解 ※「ブルー」を長期に使用したい時に、うつすらと「青」を視認させる景観カラー。
12	あじさい色		※景観に最適な色に調整	・11月12日 パーブルリボンキャンペーン ※「パープル」にしたい時に使用する景観カラー

## 2-5. あかりのイベントの夜間景観における技術指針

この章では、地域で「あかりイベントを華やかに開催したい」というニーズに対し、どのようにすれば華やかでかつ上質にできるのかを解説します。

ポイントは以下のとおりです。

- ①イルミネーションは手が届く高さまでの範囲なら設置がしやすく、より美しく仕上げやすいのでおすすめです。電球色もしくは単色のみで点滅無しの方が上品にまとまります。ツツジやコニファー・柘植などの低木なら、だれでも簡単に美しくしあげられるので特におすすめです。
- ②高木樹木のイルミネーションは安全面から高所作業車を使って設置撤去を行いましょ。脚立での設置撤去は安全の面からもなるべく避けて「脚立を使わない範囲で、できるイルミネーション」がおすすめです。
- ③カラーライトアップは、なるべく光を動かさずに単色で行いましょう。動かす場合は、ゆっくりとした動きがおすすめです。演出対象は、「地域の大切なもの」であることが重要です。カラーライトアップは、専門の事業者が専用機材で設置するのが一般的です。廉価な市販品ではカラー設定が自由にできないものが多く、景観づくりに適した上品な色彩にできない場合が見受けられます。そういった機材の場合は電球色がおすすめです。
- ④普段はライトアップしていない施設や場所に、電球色のあかりを灯すだけでも「素敵なあかりのイベント」は可能です。平戸の魅力をみんなで楽しむことができる静かで上品なライトアップイベントがおすすめです。
- ⑤サクラ祭りなどで活躍する「ぼんぼり」は、和紙風（ビニル可）＋電球色が無難です。鮮やかすぎるピンクのぼんぼりやピンクの電球は使用しないほうが無難です。
- ⑥「竹あかり」は上から見ることのできる視点場を設定しましょう。ティーライトキャンドルと呼ばれる小さなキャンドルがおすすめですが、LEDのキャンドルを使う場合は、あらかじめ明るさをチェックして、イメージ通りの効果が期待できるか確認しましょう。
- ⑦「あかりのイベント」を企画する場合は、地域で楽しむものなのか広域からの誘客を期待するものなのかを考える必要があります。広域の場合は、平戸らしさや平戸ならではの内容が重要です。



小さな花壇でも、美しく装飾できる。子供たちが製作した切り株サンタ。



高所作業車を使用して、綺麗に装飾されたイルミネーション。



歴史的な建物には、淡い色彩が似合う。



電球色のライトアップで特別なあかりのイベント。